

「お花見平和のつどい・2010」報告

日時：2010年4月4日(日) 11:00-14:30

場所：江東区夢の島 第五福龍丸展示館エンジン側

参加人数：140名(内生協30名)

主催団体：東京都地域婦人団体連盟、主婦連合会、東京都地域消費者団体連絡会、日本青年団協議会、第五福龍丸平和協会、東京都原爆被害者団体協議会(東友会)、原水爆禁止東京協議会、東京都生活協同組合連合会 以上8団体



海中に没していた第五福龍丸のエンジンが、和歌山から運ばれ現在の場所に設置された翌年エンジンの脇に東京地婦連によって八重山紅大島桜が植樹され、その翌年(2001年)から毎年、「お花見平和のつどい」が行なわれています。第10回目である今年は、「なくそう核兵器」をテーマとして、参加を呼びかけました。生憎の天候でしたが多くの来場者があり、5月にニューヨークで開催されるNPT再検討会議に派遣される代表メンバーの紹介もされました。若い参加者も多く、「年配の方々がこんなに頑張っているのに、自分たち若者も何かしなければと思った」という声が多く聞かれました。



東都生協のお団子はあつという間に売り切れ

～オープニング～

開会の呼びかけ

東京地婦連・川島霞子さんからご挨拶がありました。

みんなでうたおう「花」

加藤ひろあきさんのリードで「花」をみんなで歌いました。

■ 参加団体パフォーマンス ■

「第五福龍丸から平和を発信する会」に参加している団体が、平和と核兵器廃絶に向けた運動を楽しく報告しました。東京都生協連からは、東京南部生協の関根さんが活動報告を、南部生協組合員さんが手話ダンスで平和へのアピール、南部生協の職員さんによるギターと歌でのパフォーマンスは開場から大きな拍手を浴びました。

第五福龍丸平和協会からは、エンジンの風化を防ぐために毎年さび止めを塗る作業をしているボランティアの若者たちの紹介と実演がありました。



埼玉の平和グループの皆さん



組合員さんによる手話ダンス(写真上)。活動報告をする関根理事。(写真右) ♪戦争はいやだ♪とギターを抱えて歌う東京南部生協の野畑常務理事と森崎さん。(写真左)

18歳から27歳の若者たち。ボロボロに崩れ落ちてくる錆をきれいに取り除くところからはじめます。

■ みんなで・たのしく・お食事
ピース・ミュージック・タイム ■

加藤ひろあきさんがオリジナル曲も含め平和の歌を熱唱してくれました。会場では音楽を聴きながらの昼食交流が行なわれました。

☆東都生協がお団子の販売をしました。

■ 国連NPT再検討会議 参加代表の紹介 ■



NPT再検討会議に向け寄せられた都民の核兵器廃絶へのメッセージ。ニューヨークへ向かう代表に託されました。

NPT再検討会議ニューヨーク派遣のみなさん

■ わいわい・コーナー ■

各団体からの報告の感想をみんなで出し合いながら、交流を深めました。

～エンディング～

東京都地域消費者団体連絡会・寺田かつ子さんの閉会の挨拶のあと「青い空は」をみんなで歌って終了しました。